

広島市食中毒発生状況（平成25年1月～6月）

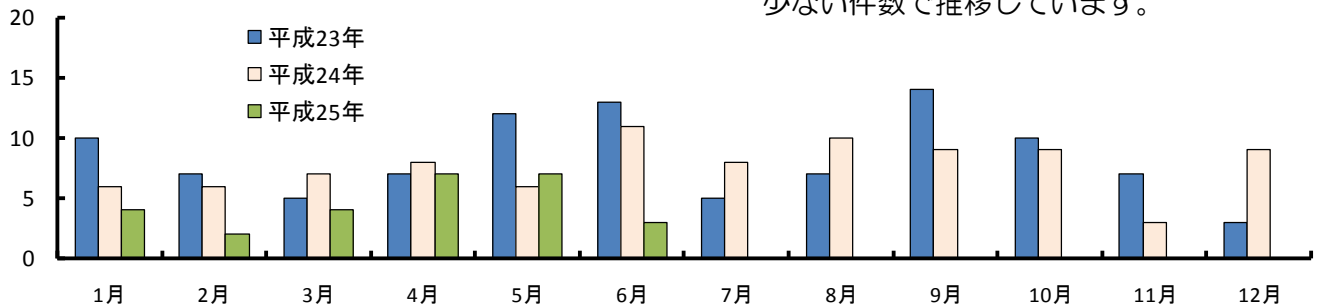
平成25年7月現在

病因物質	区分	H25年 1～4月	H25年 5月	H25年 6月	H25年 累計	昨年の同期 累計(1～6月) との比較
カンピロバクター	事件数	9	7	3	19	-11
	患者数	27	7	3	37	+6
サルモネラ	事件数	1	0	0	1	-3
	患者数	1	0	0	1	-3
腸炎ビブリオ	事件数	0	0	0	0	0
	患者数	0	0	0	0	0
黄色ブドウ球菌	事件数	0	0	0	0	0
	患者数	0	0	0	0	0
ノロウイルス	事件数	3	0	0	3	-4
	患者数	41	0	0	41	-67
その他	事件数	4	0	0	4	+1
	患者数	21	0	0	21	-33
計	事件数	17	7	3	27	-17
	患者数	90	7	3	100	-97

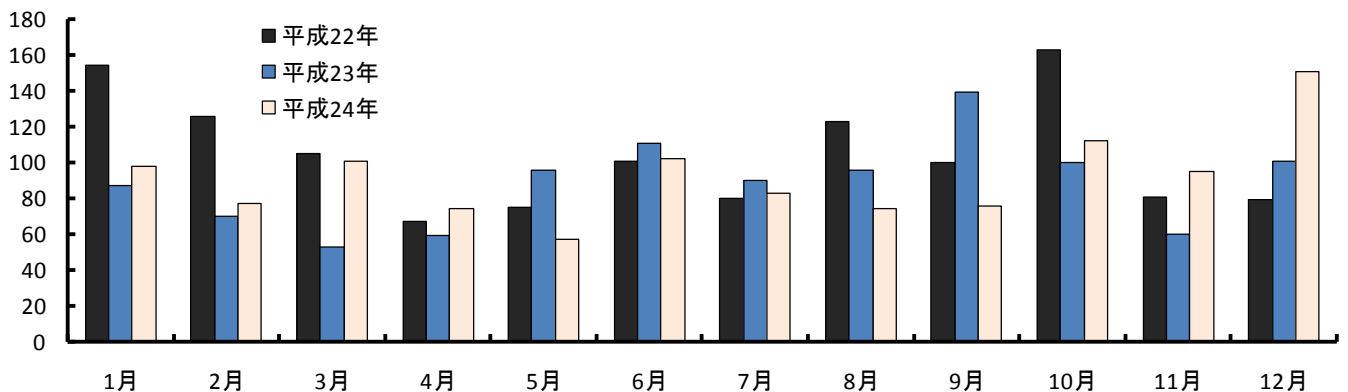
◆6月の食中毒の発生件数は3件と、5月に比べ減少しています。6月までの累計では、カンピロバクター食中毒が全体のおよそ7割を占めています。

◀ 広島市 月別食中毒発生状況 ▶

◆昨年、一昨年と比較すると、全体的に少ない件数で推移しています。



◀ 全国 月別食中毒発生状況（平成22年～24年）▶



◆全国的に見ると、6～9月は細菌性食中毒が多く発生しており、そのうち、およそ5割はカンピロバクター食中毒です。

食中毒警報発令中！！

～ 3原則を守って食中毒を予防しましょう ～

つけない！

ふやさない！

やっつける！